



スマイリーハウス保育園

暦の上では「秋」といっても、まだまだ厳しい暑さが続いている。そんな中で、日焼けした子どもたちは元気いっぱい園生活を送っています。しかし、夏の疲れが出てくる時期です。今まで以上に体調の変化に気をつけながら、散歩に出かけたり、秋の自然に触れたり、元気に外遊びを楽しみたいですね。

『夏バテ』ならぬ『秋バテ』に注意

夏の暑さが和らいでくると、それまでの疲れがどっと出てしまうことがあります



ポイント① こんな症状に注意!

- 食欲がない 頭がぼーっとする 体がだるい
- 疲れやすい なかなか寝られない 朝が起きられない

ポイント② 秋バテの原因は?

- ①秋は一日の中でも寒暖差が激しくなるので、体に負担がかかっている
- ②冷たい食べ物を食べ過ぎる事で、胃や腸に負担がかかっている
- ③冷房で体が冷えてしまい、体調を崩しやすくなっている



ポイント③ 秋バテ対策をしよう!

- ①消化の良いものをゆっくり噛んで食べる⇒疲労回復には、ビタミンやミネラルが豊富な豚肉やかぼちゃ・サツマイモ、体を温める根菜類をお勧めです。
- ②シャワーで済ませず、ぬるま湯(37°C~39°C)にゆっくり浸かる⇒疲れが取れ、リラックス効果がある
- ③適度な運動をする⇒汗をかいて体温調整が出来るように、「汗をかく習慣を付ける」
- ④冷房は控えめに使用する⇒屋外と屋内の温度差を5度以内にする
- ⑤早寝早起きを心掛ける



体調を崩すことなく、

元気に登園をできています。

まだまだ暑い日が続きます。暑さが落ち着く頃に体調を崩しやすくなると考えられますので、規則正しい生活リズムを保ちたいですね。

ニュースでは、『マイコプラズマ肺炎』の流行が報道されています。「少し元気がない」「咳が長く続いて、夜が眠れていない」など、いつもと違う様子が見られる時は無理をせず、早めの受診をお願いします。



9月の保健行事

20日（金） 身体計測





9月9日は『救急の日』

子どもの事故を防ぐために



子どもの思ひぬ行動は、大きな事故につながってしまうことも・・・。
子どもの死亡原因の第一位は「不慮の事故」 事故を経験した保護者の80%以上が「少しの気配りで防ぐことが出来た」と回答しています。

① 「ダメ！」「危ない！」 は“そこが危険” のサイン

子どもをしかって制止するよりも、ものの置き場所をかえるなど、子どもが安全に過ごせるよう環境を整えましょう。



② 一度あれば二度、 二度あることは 三度ある

危ないと思ったら、必ず理由や経緯を考えましょう。原因がわかられば対策がとれます。対策をしないと、大きな事故につながる危険がそのままに。



③ 大人も いっしょに やってみる

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。遊具やおもちゃは、いっしょに遊んで正しい使い方を示します。



年齢別注意点

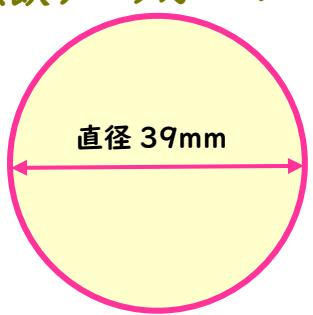
子どもの発達と起きやすい事故

月齢ごとの運動機能の発達は、個人差がありますので、あくまでも目安としてください。2カ月先の発生しやすい事故を確認し、早めに対策をしましょう。

対策

運動機能の発達	誕生	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	1歳	1歳1ヶ月	1歳半	2歳	3歳	4~6歳
転落	親が子どもを落とす	足をバタバタさせる	見たものに手を出す 口の中に物を入れる	寝返りをうつ	すわる	はう	物をつかむ	つかまり立ちする		一人歩きをする	スイッチやノブなどをいじる	走る・上る	階段を上り下りする	高いところへ上れる		
切る・はさむ・ぶつける		ベッドやソファーから転落	歩行器による転落	階段からの転落	バギーやイスからの転落	階段の上り下りの転落	階段に滑り止めをつける	窓やバルコニーからの転落	！ ベランダに出られないように鍵や網をつける	！ ベランダにふみ台になる箱などを置かない						
熱傷	熱いミルク、熱い風呂の湯	床にある鋭い物（ハサミ、カッター、画鋲など）	ポット、アイロン	ステーブ、ヒーター	ストーブやヒーターは柵などで囲う	鋭い角の家具や建具	家具の角にクッションテープなどを取り付ける	ドアや窓に手をはさむ	ドアや窓の開け閉めをゆっくり	引き出しに手をはさむ	引き出しをロックする					
窒息（誤飲）	ふかふかの寝具	タバコ、ビン、小物の誤飲		ひもやよだれかけの首の巻きつけ	ナップ類	食卓の熱い汁物	手の届かないところに置く。テーブルクロスは使わない	ビニール袋による窒息	ビニール袋は手の届かないところへ片づける	マッチ、ライター、花火	マッチやライターの管理を徹底。危険であることを教える					
溺水	入浴時の事故			沿槽への転落	風呂場のドアを必ず閉めて鍵をかける。残り湯をためない			沿槽やたらいでの水遊び	！ 子どもだけ遊ばせない							

< 誤飲チェックマーク >

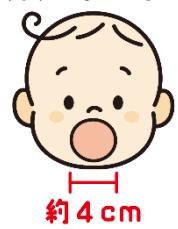


この円の中に入るのは、誤飲の危険性があります！
身の回りの物をチェックしてみましょう!!

- 幼児が口を大きく開けた時とほぼ同じサイズ
- 曲げると入るものもNGです!!



幼児が口を大きく開けた時の大ささ



約4cm